

第5章 重点プロジェクト 「南アルプスユネスコエコパーク」 推進プロジェクト

第1節 南アルプスユネスコエコパーク 推進プロジェクト

第1節 南アルプスユネスコエコパーク推進プロジェクト



1-1 重点プロジェクトとは

本市では、第2次環境基本計画で掲げた基本方針に基づき、各項目で定めた基本目標を達成するための施策を総合的に推進していきますが、その施策の中でも、「第3次静岡市総合計画」の重点プロジェクトに掲げられている特に重要で最優先に取り組むべき「南アルプスユネスコエコパーク」の推進に係る施策を重点プロジェクトとして設定します。

1-2 南アルプスユネスコエコパークとは

南アルプスユネスコエコパークは、静岡、山梨、長野の3県による取り組みであり、その中で本市を含む関係10市町村は、「高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性」を共通のテーマとして掲げています。10市町村では、南アルプスの多様な自然環境やこの自然の恵みを受けた人々によって受け継がれてきた多様な文化を共有の財産として位置付け、自然の恩恵を活かした魅力ある地域づくりを目指していきます。

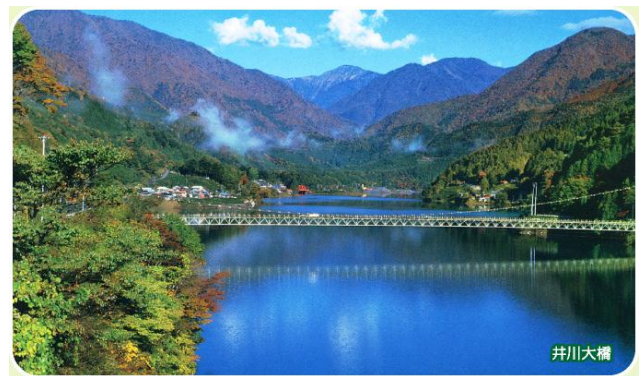
これを踏まえ、本市では、「自然環境の保全」、「調査と教育」、「地域の持続的な発展」などに重点を置き、産官学民が一体となり、地域の人々をはじめ多くの市民が誇りに思う南アルプスユネスコエコパークとして将来へ継承することを目指します。



天空のお花畑



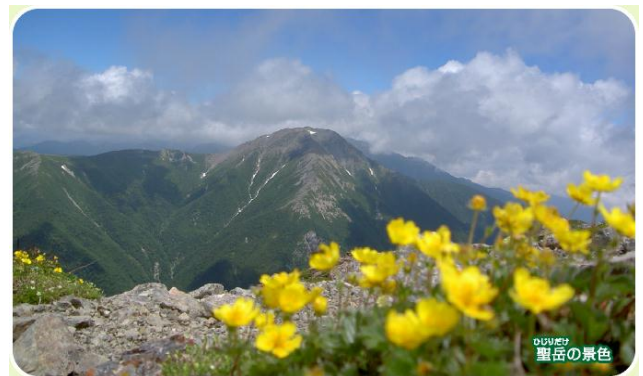
前山から見た冬の赤石岳



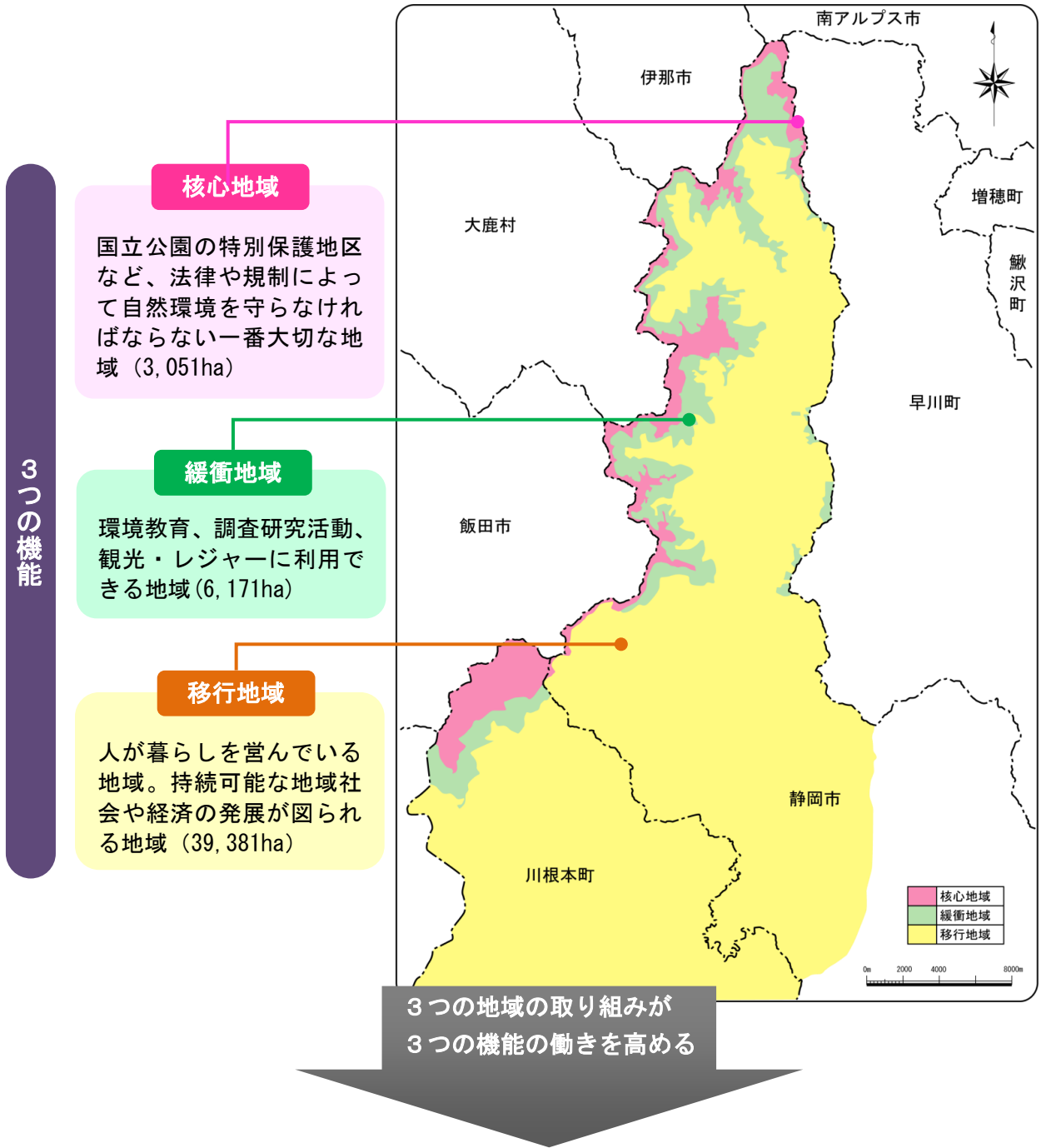
井川大橋



はなをのつりばし 畑懸大吊橋の紅葉



聖岳の景色



3つの機能

生物多様性の保全

多様な生態系や景観、そこに生息・生育する多種多様な動植物により形成される生物多様性が存在し、それらが維持されていること。

学術的研究支援

生物多様性を保存するための調査や研究が行われ、自然や歴史文化に関する環境教育、研修などの場として提供されていること。

経済と社会の発展

生物多様性の恩恵を守り、活用する、自然環境の保全と調和した取組が行われ、これにより、地域社会の持続的な発展が促進されていること。

南アルプスユネスコエコパークの3つの機能と3つの地域

1-3 南アルプスユネスコエコパークへの取り組み

本プロジェクトについては、「南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）」に基づき、以下のとおり推進していきます。

「高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性」の継承

自然・人・文化・経済の源である南アルプスをいつまでも守り受け継ぐため、「自然環境の保全」を第一に考えるとともに、これを支える人や地域を豊かにし、人が関わりながら自然を守り、地域を守り、発展させていきます。

【基本方針の柱】

生物多様性の保全の機能

自然環境の保全

学術的研究支援の機能

調査と教育

経済と社会の発展の機能

地域の持続的な発展

3つの機能を支える連携機能

理念の継承と管理運営体制の構築

【基本方針】

- 南アルプスの自然環境の保全
- つながりを意識した一体的な保全
- 高山帯から山麓に広がる自然環境の保全
- 自然や文化を学び、心を育てる環境整備
- モニタリングの実施と情報の集約
- 地域の魅力の磨き上げと地域振興
- 将来を担う人材育成と受入体制・環境づくり
- 国内外への積極的な情報発信とオール静岡による意識醸成
- 産官学民協働による管理運営体制の構築

南アルプスユネスコエコパーク登録地域は、「オクシズ」の呼称で親しまれる本市の中山間地域であり、南アルプスを抱く豊かな自然環境と人の営みが共存してきた貴重な地域です。

「南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）」に基づく施策は、オクシズの自然環境の保全や地域振興の基本方針を定める「（仮称）静岡市オクシズ総合振興条例」、登録地域内の林道周辺の森林の有する多面的機能や自然環境の保全に資することを目的に林道の管理や通行について定めた「静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例」との整合を図り、関係行政機関や地域住民、関係団体・企業、学識者などと連携・協働し、人と自然が共に歩むことのできる持続的な地域社会の発展を目指します。

「（仮称）静岡市オクシズ総合振興条例」に定める事項

●基本理念

●市民、事業者、市の責務

●オクシズ総合振興計画

●市の基本施策

●環境保全施策との整合

●国等との協力

- 教育及び学習
- 市民等の自発的な活動の促進
- 公益的機能の保全
- 交流機会の拡大
- 広報等
- 生活環境の確保
- 地域資源を活用した産業の振興
- 持続可能な地域づくりへの取組 など